



御殿場

Rotary Weekly Report

国際ロータリー第2620地区

ロータリークラブ

週報

ロータリークイズ

- ★先週のロータリークイズの答え
「ロータリーモザイク」の著者はハロルド・トーマス氏(1959～60年度RI会長)でした。
- ★今週のロータリークイズはお休みさせていただきます。

●例会場／名鉄菜館

●開会点鐘／18:00

●国歌斉唱

●ロータリーソング／我らの生業

●内容／新年会・年男大いに語る

●会員慶事

★会員誕生日

1月5日 望月 茂君

1月9日 石川又英君

★次回1月11日(1974回)の例会★

12:30点鐘 新会員卓話 東山荘

会長挨拶 土屋 閣正



先週のクリスマス家族会は会員皆様のご協力により大変楽しい会となりました。親睦活動委員会の皆様には大変お骨折りをいただきありがとうございました。ご苦勞さまでした。

さる12月21日、会員の鈴木栄一様のご母堂様のご逝去されました。亡くなられた故人のご冥福をお祈りすると共に、ご家族の皆様に対して心からお悔やみ申し上げます。

本年は暦のめぐりあわせで12月28日が上半期の最終例会、1月4日が下半期の初例会になってしまいました。クラブ定款第5条第1節では「例会日が法定休日にあたる場合、またはクラブ会員が死亡した場合、または地域社会の武力紛争がクラブ会員の生命を脅かす場合、理事会は例会を取りやめることができる。」「理事会は本項に明記されていない理由であっても、1年に4回まで例会を取りやめることができる。但し本クラブが3回を超えて続けて開かないことがあってはならない。」とあります。

過去に1990年に大雪で例会を特別休会したことがあります。今後の課題として検討していきたいと思っています。

12月28日の出席報告 ※やむを得ず欠席される方は、午前10時までにご連絡下さい。

会員数	計算に用いる 会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
62名	60名	49名	81.67%	100.00%

●欠席者(11名)

橋本喜市君・石田 恩君・神谷高義君・勝間田太住君
小早川豊一君・大森清治君・小野寛幸君・斎藤 衛君
芹澤正明君・嶋田泉太郎君・鈴木栄一君



★お誕生日おめでとう

井上 元君・山崎恭夫君・秋田 敬君



★皆出席

勝又 誠君

12月14日のメーキャップ

12月1日 裾 野 芹澤正明君	12月13日 長 泉 神谷高義君
12月8日 裾 野 橋本喜市君	12月13日 長 泉 鈴木栄一君
12月8日 裾 野 戸栗太平君	12月15日 裾 野 林 準君
12月8日 裾 野 臼井良太君	12月15日 裾 野 井上 元君
12月12日 幸手中央 秋田悦夫君	12月22日 沼 津 大森清治君

12月28日のスマイル

- ・クリスマス家族会には大勢の皆様にご出席をいただき、ありがとうございました。親睦活動委員会の皆様には大変ご苦勞さまでした。 会長・幹事
- ・先週も古希の御祝いを頂戴しまして大変ありがとうございます。 菅沼 久君
- ・先週のクリスマス会はどうでしたか？一生懸命段取ったので良かったと思います。(親睦活動委員会)委員長 石川又英君

上半期を顧みて……………土屋 閣正君



早いもので本日は上半期の最終例会となりました。

7月6日の1948回の例会からスタートして上半期は25回の例会を開催してきました。3月26日のPETS及び4月17日の地区協議会をはじめ、準備の段階から、理事、役員、会員の皆様のご協力に対しまして心から感謝申し上げます。

6ヶ月経過して、上半期を振り返ってみますと、ウィリアムB・ボイドRI会長は、「率先しよう」(LEAD THE WAY)をテーマに掲げました。「奉仕と親睦を通じて明るい未来をもたらすために、ロータリアンが力を合わせて率先していこう。継続の力、協力の精神、持続性も重要である」と信じています。」と切り出し、①水保全、②識字率向上、③保健及び飢餓、④ロータリー家族の4つの強調事項を提示し今年度は始まりました。

次に、第2620地区の井上雅雄ガバナーは、同じく「率先しよう」「職業奉仕と親睦」をテーマに掲げスタートいたしました。

御殿場ロータリークラブに関しましては、次の2つの重点目標を掲げさせていただきます。

(1)創立40周年を成功するよう努力します。

1967年6月1日に沼津北ロータリークラブのスポンサー、小林完特別代表により創立し、6月23日に認証を受け、1968年4月21日に30名でチャーターナイトを行いスタートいたしました。多くの先輩会員の皆様の努力で、現在62名の会員を擁する伝統と歴史のあるクラブに成長し、40周年を迎えることとなりました。

(2)「継続は力なり」をモットーに長年の歴史と伝統を尊重して、奉仕と親睦の輪を広げ魅力ある楽しいクラブになるよう努力いたします。

下半期は上半期と同じく25回の例会が予定されておりますが、楽しい例会となるよう努力していきたくと思いますので、宜しく願い申し上げます。

最後になりますがCLP(クラブリーダーシッププラン)について上半期の経過を報告させていただきます。

①昨年の12月に山口前会長よりCLPについての説明がありました。

②本年3月26日のPETS及び4月16日の地区協議会において正式にCLPについての説明を受けました。本年度は周知年度であり、次年度は実施年度であるとの説明を受けました。

③7月29日に会員増強及びロータリー情報セミナーに3名出席しました。

④9月21日の理事会においてCLP研究グループの設置を承認しました。

⑤11月2日の例会において道部次年度ガバナーエレクトにCLPの講義を受けました。

⑥11月18日の地区大会において「CLPを学ぼう」に会長・副会長・幹事が出席しました。

⑦11月27日に第1回CLP研究グループを開催しました。

以上がこれまでの経過ですが、アメリカや日本というような、ロータリー先進国と目される国を中心に会員数が減少したことは、大きな危機感を抱かせました。こうした危機感の表れの一つがCLPの発想につながっていると思います。

CLPの目的は効果的なクラブの枠組みを提供することにより、クラブのレベルでロータリーの強化を図ることです。

以上CLPの経過ですが過日のCLP研究グループの会議においては、座長を水口様、副座長に正副会長、事務局を正副幹事に決定し、今後の方針を検討いたしました。

①本年度は周知年度であるので会員の皆様に理解度を深めてもらうよう努力すべきである。

②CLPを導入するクラブが現在10%未満であるので時期を見極めるべきである。

③来年3月～4月に予定される規定審議会の結果をまっても遅くない。

④細則及びプランは義務づけられていない。

⑤クラブフォーラムを1月～4月迄に開催する。

⑥DLPがCLPと比較して遅れているが、道部年度及び牧田年度でしっかりと整備されるのでそれからでも遅くない。

この時期にCLPがロータリー第二世紀に向けてのクラブ強化のための具体案として提唱されたことは意義あることと思います。

どうぞ下半期も宜しく願い申し上げます。

上半期を顧みて……………勝又 博文君



追われるような忙しさでしたので、上半期を終えて、内心ホッとしております。

全てが初めてのことであり、戸惑うことばかりでした。会員の皆様には、暖かく見守っていただき、ご指導・ご協力を頂きまして何とか半分を終えることが出来ました。心より感謝と御礼申し上げます。歴代の先輩幹事の皆様が、ご苦労されていたことが身にしみてわかり、頭が下がる思いでございます。

上半期は、会議・打ち合わせが多かったと感じております。25回の例会はもとより、4回の臨時理事会を含め理事会を10回、創立40周年実行委員会を5回、クラブ協議会を3回、CLP研究会などが開催されました。会報の作成、会議の開催通知・会議レジメ・議事録の作成などの準備に追われま

した。

また、RI第2620地区のリーダーの皆様(井上ガバナー、内藤パストガバナー、道部次期ガバナー)が、来訪して下さり貴重なお話を伺うことが出来たことが印象的でした。

今期、ガバナー事務所は、事務の合理化を進めております。今までのやり方とは違い、各種通知は郵送ではなく、電子メールによってやり取りされております。ガバナー事務所ホームページより、直接情報をダウンロードし、皆様にお伝えすることになります。例年通りのやり方とは違い、これに慣れるのもたいへんでした。

まだ、下半期が残っております。ミスや心配りが足りずにご迷惑をかけることもあろうかと思いますが、ロータリーの友情に免じてお許し頂きたいと思ひます。

会員の皆様には、どうか今後とも引き続きご指導・ご協力を頂きますよう、重ねてお願い申し上げます。



御殿場 第2620地区
ロータリークラブ

○例会日/木曜日
○例会場・事務局/YMCA東山荘
静岡県御殿場市東山1052
電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138
<http://www.gotemba-rc.gr.jp/>

○会 長/土屋 閣正
○幹 事/勝又 博文
○会報委員長/斉藤 礼志